

平成30(2018)年度 下水道事業会計決算

ID1001711

9月定例会市議会で、平成30年度の下水道事業会計の決算が認定されました。平成30年度末の水洗化人口は229,638人で、前年度に比べ182人減少し、年間有収水量(料金徴収の対象となる水量)は前年度に比べ109,335m³減少して23,235,779m³となりました。平成30年度の下水道事業会計のキャッシュ・フロー計算書は以下のとおりです。

水道事業会計の決算は本誌12月号をご覧ください。

キャッシュ・フロー計算書

1. 業務活動	
資金減	人件費の支払い 1億4,709万円
	流域負担金の支払い 7億8,882万円
	利息の支払い 4億7,525万円
	その他の支払い 5億8,414万円
資金増	下水道使用料の収入 24億6,689万円
	一般会計繰入金の収入 14億8,009万円
	その他の収入 3,745万円
	差引 19億8,913万円の資金の増加
2. 投資活動	
資金減	資産の取得のための支払い 4億5,260万円
資金増	一般会計繰入金の収入 1億9,768万円
	その他の収入 3,849万円
	差引 2億1,643万円の資金の減少
3. 財務活動	
資金減	借入金の返済 28億3,433万円
資金増	借入金の借入 9億2,790万円
	差引 19億643万円の資金の減少
	資金減少額 1億3,373万円
	期首資金残高 6億3,805万円
	期末資金残高 5億432万円

用語の説明

営業の結果を示しています。下水道事業では、下水を処理するためにかかった資金と下水道使用料として受け取った資金、それらに付随する資金の収支を集計しています。

設備投資などに使った資金や投資によって得た資金を集計しています。下水道事業は管路の整備に多額の資金を要するため、通常、投資活動による収支は大きくマイナスになります。

財務活動は、借入金の借入額や返済額を集計しています。

まとめ

業務活動がプラス、投資活動がマイナス、財務活動がマイナスとなっていることから、営業で儲けた資金で投資を進めていて、借入金の返済も進んでいることがわかります。平成27(2015)年度以降の借入金残高は次のとおりです。

年度	H27	H28	H29	H30
残高(億円)	274	253	236	220

キャッシュ・フロー計算書って何?

キャッシュ・フロー計算書は、地方公営企業法により、損益計算書や貸借対照表に併せて作成することが義務付けられた事業の結果を示す重要な書類です。損益計算書が減価償却費や除却損といった支出を伴わない費用や長期前受金戻入といった収入を伴わない収益を計上するのに対し、キャッシュ・フロー計算書は、その年度に資金のやりとりがあった項目だけを集計しています。その名のとおりキャッシュ(資金)のフロー(流れ)を表していて、家庭で言えば家計簿のようなものです。キャッシュ・フロー計算書を見れば、その企業にどれだけの資金があって、何に資金を使い、何によって資金を得ているかがわかります。

上下水道局経営企画課 (☎77・2104 FAX72・5381)

水質検査結果

ID1028021

水道水フッ素およびその化合物検査結果		
採水場所	系 統	採水月日
		11月12日
すみれが丘	惣川浄水場	0.18
ゆずり葉台	惣川浄水場(生瀬経由)	0.18
長尾台	小浜浄水場(川面経由)	0.27
安倉中	小浜浄水場	0.29
東洋町	阪神水道	0.07
中山桜台	小浜・県営水道	0.16

単位=mg/L、厚生労働省の水質基準は0.8mg/L以下
市北部(西谷地域)は、小浜・県営水道系統です。

上下水道局浄水課(水質検査室)
(☎83・6940 FAX83・6941)

水道管の凍結にご注意ください

ID1001664

これからの約1か月は1年間で最も寒い時期です。厳しい冷え込みにより水道管の中の水が凍結する恐れがあります。露出した水道管がある場合は、布を巻くなどして保護してください。

もし水道管が凍結したら?

太陽が昇って気温が上がると、水道管の中の水が溶けるまで待ってください。急いでいる場合は、管に布を巻いてその上からぬるま湯を掛けて少しずつ溶かしてください。水道管にいきなり熱湯を掛けると、管が破裂することがあるのでご注意ください。

